

科目名	臨床見学セミナー（理学療法）	担当教員	小林巧※ 小林匠※ 森野陽※ 伊藤俊輔※ 佐藤公博※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	----------------	------	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	1年次	前期	1単位	演習

科目概要	本セミナーでは、職業人としての規律やルール、マナー、対象者とのコミュニケーションのとり方について、グループワークを通じて学習する。理学療法士を目指すものとして必要な豊かな人間性や人を思いやる心を理解し、臨床見学実習にふさわしい人間性を育む。
学習目標	① 臨床見学実習で求められる課題とルールを理解する。 ② 職業人・医療人としての常識的行動・態度を理解する。 ③ 理学療法士に必要な人間性を理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	ガイダンス	臨床見学実習の概要	臨床見学実習の概要を理解する。	担当教員 全員
2	実習の心構え1	知り得た情報の管理方法、記録とレポート作成方法	知り得た情報の管理方法を理解する。 実習記録とレポートの作成方法を理解する。	担当教員 全員
3	実習の心構え2	コミュニケーション	指導者やスタッフ、患者および利用者とのコミュニケーションの取り方を理解する。	担当教員 全員
4	実習の心構え3	職業人としての常識的行動・態度	職業人としての常識的行動や態度を理解する。	担当教員 全員
5	実習の心構え4	報告・連絡・相談	報告・連絡・相談の方法を理解する。	担当教員 全員
6	実習の心構え5	事前準備	事前準備の重要性について理解する。	担当教員 全員
7	実習の心構え6	調査学習1	調査方法を理解する。	担当教員 全員
8	実習の心構え7	調査学習2	調査内容をまとめて、報告ができる。	担当教員 全員
9	演習1	実習施設の概要や役割の報告	実習施設の概要や役割および体験内容を報告する。	担当教員 全員
10	演習2	〃	〃	担当教員 全員
11	演習3	〃	〃	担当教員 全員
12	演習4	〃	〃	担当教員 全員
13	演習5	〃	〃	担当教員 全員
14	演習6	〃	〃	担当教員 全員
15	演習7	〃	〃	担当教員 全員

評価方法	報告書 70%、平常点 30%で評価する。
教科図書	指定しない
参考図書	なし
学習の準備	臨床見学実習に向けて、これまで学習した内容を復習すること。
オフィスアワー	随時
担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験	担当教員の実務経験を基に、臨床見学実習に向け、職業人としての規律やルール、マナー、対象者とのコミュニケーションのとり方について実践的な指導をする。